

廣福寺だより

23号



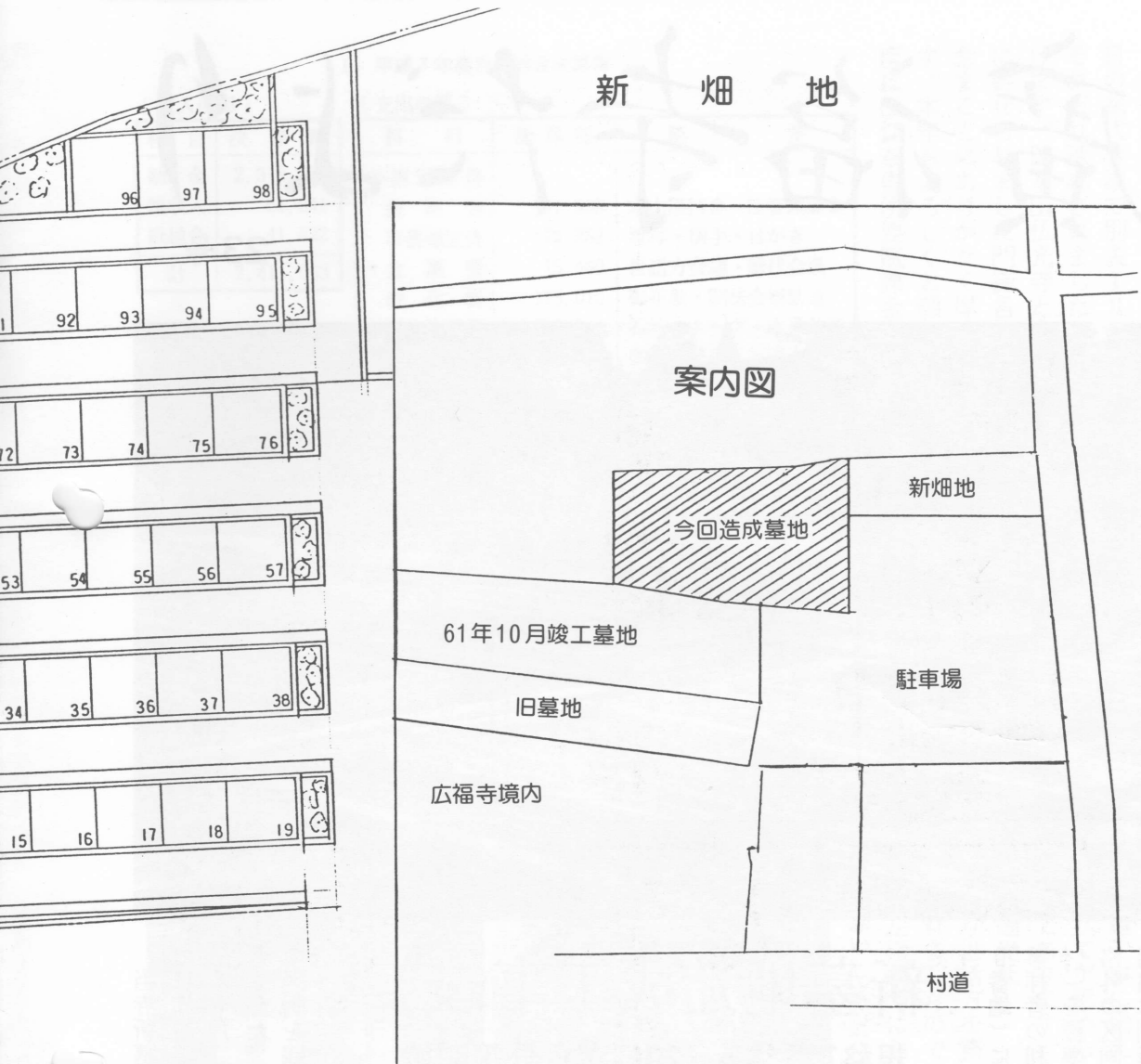
新墓地造成工事竣工

規格1.5^{トル}角、20日から分譲開始

当寺新墓地造成工事は九月下旬、一部整地工事等を残してほぼ竣工しました。その経過と概要を門信徒の皆さんに伝え十月二十日以降ご希望の方に分譲を開始する運びとなりました。経過 昭和61年10月に造成の墓地は一部規格外の区画を残して余地が全くなりました。一昨年寺の裏

道から駐車場に通ずる墓地参道バイパス道路の拡幅舗装工事が竣工、寺の境内を通り抜けることなくともお参りできると皆さんから大変に喜んで頂きました。そんな折も折、不思議なご縁で村道から駐車場に通ずる拡幅舗装工事が村の事業で進められることになりお盆までに竣工しました。かねて新規墓地造成を發議された世話方の大谷統司さんの献身的なお世話で一連の工事が進められ、地権者との折衝、土地の取得、登記、農地法五条申請、墓地変更の許可申請、不動産取得申告等の事務処理に至るまで面倒をみて頂きました。ありがとうございます。新墓地 従来の墓地の西側麓浦ノ原6577、6578、6579番地弥彦山麓の高台に位置し西方に向かって参拝する形に統一、村道から、また裏道から参道が通じ参拝者のための駐車場を6581番地に整備する。駐車場の西側、新畑地(658

0番地)には墓前に供えるお花を植栽し特に遠隔地からの参拝者の利用に供する。区画 1・5^{トル}角(2・25平方^{トル})を標準規格とする。但し地形の関係で奥行きが浅い規格外の区画(77、85番)が若干あり合計98区画。参道の通路は側溝を含め1・38^{トル}。以下2ページにつづく。



工事仕様 前面と側面は歩車道境界ブロック、背面はコンクリートブロックで区画、ベイスは雑草をさけるためコンクリートで固める。参道の通路は1・38^{メートル}のコンクリート舗装、排水は180型側溝を設け要所にグレーチングを使用する。高低差があるため階段部があり、またかん木などを植栽する緑地帯が4か所、墓地と駐車場を仕切る生け垣が6か所ある。お参りの利便をはかるため給水設備(水栓柱)が2か所あり、また夜間の照明のため街灯鉄柱を3か所設ける予定。

施工 連日の炎天下、分水町幕島の(有)八子建設の皆さんにご苦勞頂きました。ありがとうございます。

分譲 対象は当寺の門信徒といたします。但し当寺が親鸞聖人を宗祖と仰ぐ真宗仏光寺派の寺院であることを十分ご承知の上でお申込みの方であれば他門徒の方であっても一切差別なく分譲いたします。

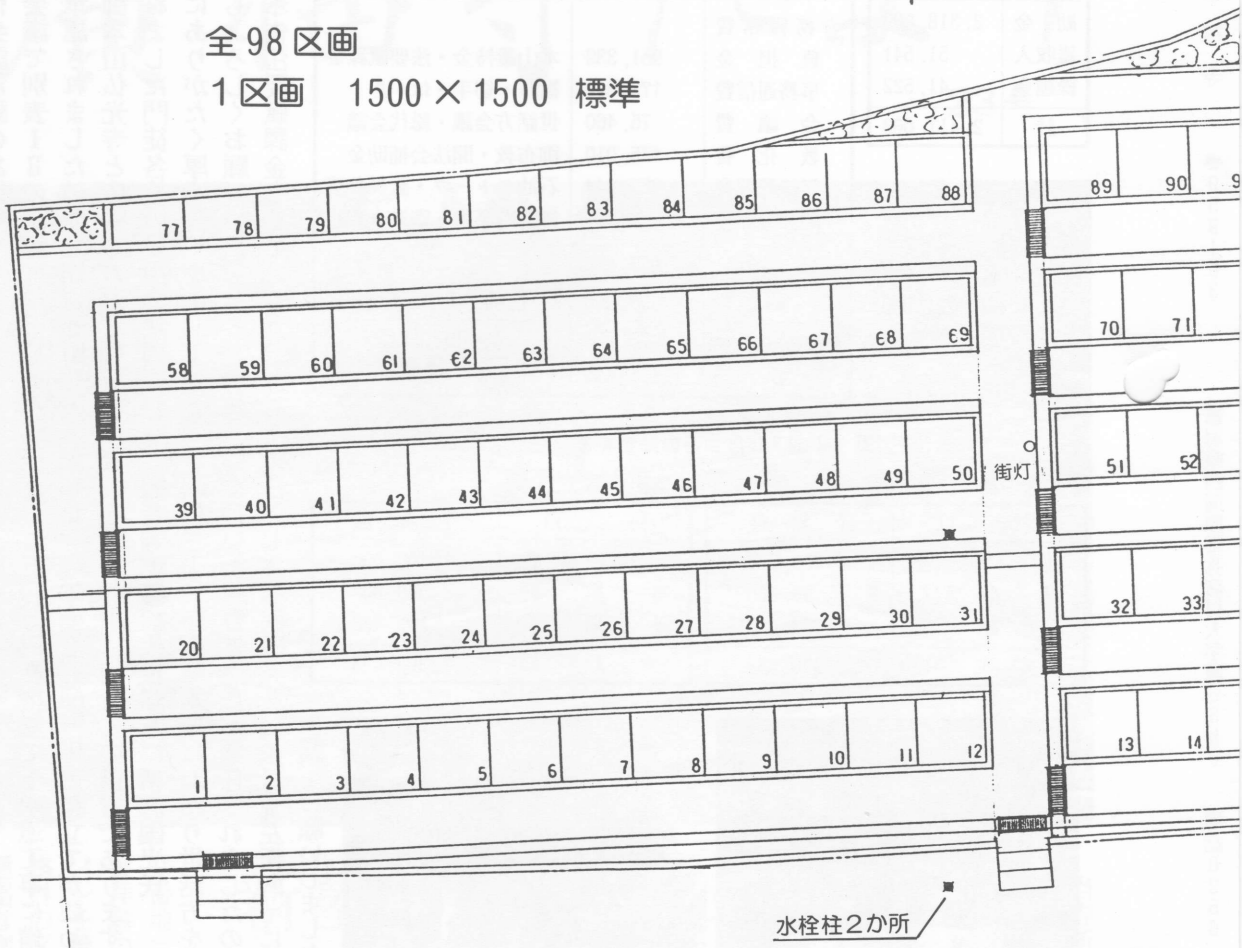
永代使用料 九月三十日の世話方会議で土地取得費、造成工事費を勘案し慎重審議の結果、標準規格の区画は拾七万円、規格外の区画は規格の使用料に準じて使用料を定めることを決議して頂きました。

管理費 旧墓地も含め年間の管理費貳千円をお墓の清掃時、または墓参りおいでの時寺に納付して頂くことを決議して頂きました。台帳に記帳し除草、清掃費に使用します。

広福寺新墓地造成図

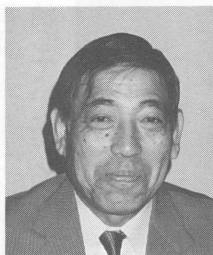
全 98 区画

1 区画 1500 × 1500 標準



世話方に山岸哲也氏

也氏は、同日付で本山仏光寺から本山世話方を任命されました。永年世話方を務められた山岸義正氏の後任をお願いいたしました。



責任役員に大谷統司氏

当寺世話方で本山参与を務めておられる大谷統司氏は、二月二十一日付で本山仏光寺から宗教法人広福寺責任役員を任命されました。

申込み受付 十月二十日以降随时お申込みを受付けます。場所の選定はお申込み順にお願いします。新墓地造成工事のため墓地の移転をお願いした方には優先して新墓地を申込んで頂くこといたします。申込み書に記入捺印して頂きますので印鑑をお忘れなくご持参下さい。お申込みにおいでの際はあらかじめ電話で在宅をおたしかめの上おいで下さるようお願いいたします。

登録 永代使用料を受納し区画番号をつけて当寺新墓地台帳にお名前を登録します。

標示 分譲済みの区画番号をスプレーで○印をつけて標示します。

I 平成 7 年度当寺勤金決算書

〔収入の部〕

科 目	決 算 額
勤 金	2,318,000
雑収入	51,541
繰越金	41,522
計	2,411,063

〔支出の部〕

科 目	決 算 額	摘 要
寺務経常費		
負 担 金	951,339	本山護持金・法要賦課金
事務通信費	172,852	複写・切手・はがき
会 議 費	75,460	世話方会議・総代会議
教 化 費	175,010	御布教・聞法会補助金
営繕管理費	250,344	石油ストーブ・火災共済
門徒交際費	212,600	御本尊下付・寄進人謝礼
(小 計)	1,837,605	
事 業 費	500,000	広福寺基金積立金
繰 越 金	73,458	次年度へ繰越
計	2,411,063	

負担金の内訳

広福寺分	724,292
心光寺分	206,047
ともしび代	21,000

II 平成 8 年度当寺勤金予算書

〔収入の部〕

科 目	予 算 額
勤 金	2,200,000
雑 収 入	30,000
繰 越 金	73,458
計	2,303,458

〔支出の部〕

科 目	予 算 額
寺務経常費	1,700,000
事 業 費	500,000
予 備 費	103,458
計	2,303,458



定例総代会議決議のお知らせ 去る二月三日の総代会議で別表ⅠⅡの決算書、予算書がそれぞれ承認されましたのでお知らせ申し上げます。御本山仏光寺と広福寺のおとりもちに寄せられました門徒各位の愛山護法のご懇念まことにありがたく厚く御礼を申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。昨年度は伝灯奉告法要賦課金として二一九、九二

九円を上納いたしました。事業費に広福寺基金として五〇万円を積立て下水道工事に備えました。今年度も五〇万円の積立てが認められました。将来に備えての措置であります。観音寺地区総代会議方に柄沢国光氏 昭和三十一年以降永年にわたり世話方を務めて頂いた隼野孝之氏が辞任されましたので後任として柄沢国光氏(家号金左衛門)にお

世話をお願いしました。

御 寄 進

ご懇念まことにあり
がとうございました。

▽当院用衣体(法衣・袈裟・袴)一式

▽新墓地造成事業推進基金

燕市 大谷統司殿

一戸当たり八千円の勤金

今年も昨年

同様一戸当たり八千円の勤金を八月までに上納していただくことが申し合わされました。

麓、観音寺、村山、境江、山岸、山崎、辰ノ口、長崎地区は女性講の講金一戸二百円も同時にお願いいたします。

提灯掛と掲示板を新調

この間の台風12号で寺の掲示板が前の道路に倒れ通りかかったバスを止めてしまいました。木製で根元が腐っていたためです。本堂入口の提灯台も倒れましたので、掲示板と提灯掛(アルミ製)を京都の仏具店を通じて新調いたしました。